

チームオレンジ ～ このまちで自分らしく生きていく ～



1.基本情報(令和6年12月現在)

市・町名	長与町		
人口	高齢者人口	高齢者率	面積
39476人	11627人	29.45%	28.73km ²

2.チームの概要

チーム名			
開始時期	R6 年 11月 22日 ～		
実施主体	☒ 市町 ☐ 地域包括支援センター ☐ 住民・ボランティア ☐ 社会福祉協議会 ☐ その他 ()		
チームオレンジ コーディネーターの属性	認知症地域支援推進員2人（地域包括支援センター）、地域包括支援センター社会福祉士1人 3人		
メンバー構成	認知症カフェのボランティアスタッフ 5人		
活動頻度	認知症カフェ月1回、他		
チームオレンジの類型	☐ 第1類型 共生志向の標準タイプ ☒ 第2類型 既存拠点活用タイプ ☐ 第3類型 拠点を設置しない個別支援型タイプ ☐ その他		
チームオレンジ三つの基本について	☒ 3つの基本を満たしている ☐ 3つの基本は満たしていないものの仕組みが構築されている。		
運営財源	☐ 市町からの委託 ☐ 市町からの補助 ☒ 会費・参加費 ☒ その他 ※上記の財源 (活動など必要なものは町で予算化) ☐ 市町一般財源 ☒ 地域支援事業交付金 ☐ その他 ()		

3. チームオレンジの設置に至ったプロセス

以前より、認知症サポーターがボランティアとして認知症カフェで活動補助を行っていた。継続していく中で、サポーターが活動内容に積極的に関わっていくようになっており、チームオレンジの要件を満たすと思われたため、チームオレンジコーディネーターから声かけがあり、チームオレンジとしても活動を開始した。

4. 活動内容

- ・認知症カフェの企画・運営への参加
- ・普及啓発活動への参加

5. 活動を進めて行く上で工夫したこと・配慮したこと

- ・認知症カフェは、認知症の方のみではなく地域の誰でも参加できるようにしているため、誰でも楽しめる内容としている。
- ・認知症カフェではサポーターが参加者の中に入り、サポートや話し相手になっており、参加者とのかかわりの中から、好みの活動や悩みなどを聞き取り、活動内容に生かしたり、地域包括支援センターの職員と情報共有をしている。
- ・帰り際に「また来月会いましょう」と声かけを行っており、気軽に参加できる雰囲気づくりを大切にしている。

6. ステップアップ講座の開催状況・講座内容について

チームオレンジコーディネーターがチームオレンジについての内容について話をした。

7. 活動してきたことで得られた効果・見えてきた課題

【効果】

- ・参加者の口コミもあり参加者が徐々に増えてきた。
- ・認知症のある方が参加するようになってきた。

【課題】

- ・会場に來れない人（アクセス、身体状況など）がいる。

8. チームのアピールポイント

サロンの運営者、民生委員など高齢者に関わる様々な活動をされている方ばかりです。優しい方ばかりで、話題や手作業などの活動内容についての引き出しも豊富。いつでも楽しめる安心できる場所を提供します。

9. 今後の活動について

認知症のある方や家族が認知症カフェが安心して行ける気軽な外出先となるように、現在の活動を継続する。